

# 国府高OBが全国切符

マスターズ甲子園県大会

元高校球児が出身校別のチームで全国大会を目指すマスターズ甲子園の県大会決勝が十八日、阿久比町の阿久比球場であった。国府高（豊川市）OBは9-5で大府高（大府市）OBに勝って優勝を果たし、十一月に甲子園球場で開かれる全国大会への切符をつかんだ。

国府は二回、打者一巡の攻撃で4点を先取すると、続く三回も長短打3本を集めて3点を追加し、主導権を握った。投げては社会人野球経験のある西航平さん（三巴）や杉本樹亮さん（三毛）ら四人の投手リレーで、大府の反撃をかわし

## 大府高OBに9-5

国府の県大会優勝は、マスターズ甲子園に初めて参戦した二〇一九年以来二度目。降雨の中、ナインに胸上げされた監督の杉村大介さん（四丸）は「OB同士が世代を超え、チーム一丸となって戦うことができた。前回の甲子園では引き分けだったので、次は勝ちにいきたい」と抱負を語った。

県大会には成章高（田原市）や刈谷高（刈谷市）など十六校のOBチームが出場。試合は四回または六十分までは三十四歳以下、その後は三十五歳以上のメンバーで戦った。

（川合道子）



好投した杉本投手＝いずれも阿久比町の阿久比球場で（国府高野球部OB会提供）



全国大会への出場を決めた国府高OBナイン